

は じ め に

ビルの大型化、高層化にともなって、総合操作盤が扱う情報の種類や監視制御点数も膨大・複雑なものとなっております。そのため、緊急時に出勤した消防隊が、ビル毎に異なる構成の総合操作盤を操作して状況を把握するのは、難しい面がありました。

そこで、消防機関の現場の声を取り入れて、総合操作盤に機能の追加と共通化をはかった「総合操作盤の消防支援に係る技術基準」(社団法人 日本火災報知機工業会)を策定し、新規に設置する機器から順次対応することとしました。

これにより、火災時に必要な消防用設備情報について、消防隊が直接操作して確認し、制御することが可能となります。主なポイントは以下のとおりです。

- ①ディスプレイ装置 (LCD モニター) に、消防隊用の「消防支援スイッチ」を設けて、消防隊が火災時に必要とする情報を把握し、制御することが可能となる。
- ②防災センターに設置されている総合操作盤を迅速に識別し、適切な確認操作ができるよう、自立列盤の表記と配列を統一した。

本技術基準の製品への対応時期は、①については平成 23 年 12 月迄には新設分から切り替わり、②については平成 21 年 12 月以降設置分から対応済です。